

春号 みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室のご案内】

①エコ教室「テラリウムづくり」

日 時：令和 3 年 7 月 11 日(日)

午前の部：10:00～12:00

場 所：21 世紀記念公園 とがりふれあい館ホール

定 員：7 名※抽選

参 加 費：500 円※当日お支払いください。

申込期間：令和 3 年 6 月 24 日(木) 9:00 から

令和 3 年 6 月 27 日(日)17:00 まで

申込方法：21 世紀記念公園へお電話でお申込ください。

【記念樹交付日】

場所：郡山カルチャーパーク カルチャーセンター

対象：記念樹申請者

日時：令和 3 年 4 月 25 日(日)10:00～15:00

日時：令和 3 年 5 月 23 日(日)10:00～15:00

日時：令和 3 年 6 月 27 日(日)10:00～15:00

***市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を
1 本プレゼントしています。**

申請期間は新築または購入日から 1 年以内です。

***当日検温とマスクの着用をお願いいたします。**

My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス



【水やり】

今シーズンは、はっきりとした寒さを感じる冬でした。そのため、ソメイヨシノは例年になく開花が早くなりそうです。春になってから、雨も時々あり、植物にとっては有り難いことです。春先は、植物が芽吹くために水分を多く必要とします。植物を植えこむときや乾燥が続くときは、どっぴりと水をあげるようにします。そのどっぴりという量は、根まで十分に届く量です。ただし、毎日こまめにやって乾燥する間もないような水やりは NG です。乾燥させることも大事です。土にだけあげるのではなく、葉を含め全体に水をかけるのがいいです。初めての方には、水やりはとても難しい作業です。萎れてしまってから一生懸命にやっても回復は望めません。また、家の土壌は粘土を含み、水はけが悪いので水やりの心配がないと思う方がいるかもしれませんが、それは間違いです。そもそも、水はけの悪いところに植物を植えこんではいけません。そして乾燥、雑草などを抑える為には、腐葉土などでマルチング(土壌表面を被う)をすると効果があります。

【植替え】

この 4 月初めの落葉樹の萌芽前までと常緑樹の萌芽しようとする時期が、植え替えには適しています。また、針葉樹も新梢が伸びだす頃が適しています。そのため、時期を逃してしまうと植物を弱らせる場合があります。ただし、カエデ類やボケ、ポタンなどは、この時期では遅すぎます。カエデ類は植え替えの時に切る根や枝の切り口から樹液が流れ出て、樹勢が落ちてしまい、カミキリムシなどの被害にあいやすくなります。対して、ポタン、シャクヤクの鉢植えの場合は、花が終わったら直ぐに地植えにします。植え替える時に剪定をして、枝葉を少なくしたほうが良いという方がいますが、植物ホルモンの関係で切りすぎると、かえってマイナスになります。根が悪いときには、葉の量だけを少なくします。作業は時期、植えこむ土壌、その後の水やりが特に大切です。植えこむ土壌は軟らかくて、有機質を含んだ、水持ちと排水性のある赤玉土 7 割に腐葉土 3 割を混ぜ込んだ土がベストです。

【肥料】

3月中頃までに皆さんは肥料(寒肥)をあげましたか？この肥料は今年一年の成長を左右します。まだあげていない場合は、少しでも早くあげてください。発酵済み油粕が良いです。春に咲き終えた花木には、お礼肥(緩効性肥料)をあげます。そして草花類は、植え込み時に元肥を与えますが、その後もときどき液肥をあげるようにします。草花を植えこむときには、リン酸を多くあげるようにすると良くなると書いてありますが、コウモリの糞の化石の肥料を知っていますか？「バットグアノ」という製品名で流通しています。骨粉と同じような使い方がされるようです。肥料の三要素はチッ素（N）＝茎葉の成長に効果があります。リン酸（P）＝開花や結実に関係します。カリ（K）＝根や茎の発達に効果があります。そのほかにも微量要素の物質があります。それぞれ多すぎても少なすぎても成長に影響が出ます。肥料のパッケージに書かれている数字が含まれている三要素の成分の量です。チッ素リン酸カリの順番で分量は％で表示されています。ただし、施肥はあげれば良いわけではなく腐葉土や牛ふん堆肥などを土にすきこんで腐植質を多くしておくことも大切です。

【病害虫】

これからの時期になると、多くの病害虫が発生し始めます。アブラムシは新梢などの柔らかい枝葉にびっしりと発生します。ただし、この時期の薬剤散布は葉が柔らかいために薬害が出やすく茶色に焼けてしまうこともあります。カイガラムシも孵化したばかりの時期(5月～7月)の薬剤散布は効果があります。イモムシ(毛虫)類も柔らかい葉を食べだすために動き始めます。この辺では、まずミノウスバがマユミの葉を全て食べつくすこともあります。マツなどにつく毛虫のマツカレハも越冬してこれから旺盛に活動します。マツノマダラカミキリの防除を兼ねて4月後半から薬剤散布を行うのが効果的です。うどんこ病も5月頃から発生し始めます。予防薬を前もって散布することが必要です。殺菌剤は新商品のほうが効果が高いような気がします。

【剪定】

マツは、新芽が伸びた4月後半から行う「みどり摘み」という剪定が大事になります。この作業は、簡単なので素人の方でも行えます。この作業をやるだけでも綺麗になります。コニファー類は、春先のこの時期に刈り込んでおくと、次の新芽が出てきて綺麗になります。大きくなりすぎたコニファーをよく見かけますが、この時期に大胆に剪定をして作り直すことも可能です。落葉樹は、これからの強い剪定は好ましくありません。新芽を摘み取るくらいにしておいた方が無難です。ツバキなどの常緑広葉樹は剪定の時期です。花が終わったら、幹に近い弱った懐の枝を整理し、先端も強い芽の先で切れば、来春も花を咲かせます。秋咲きのキンモクセイやサザンカなどは、早めに済ませます。これからが常緑広葉樹は、強い剪定が可能な時期です。シャクナゲやツツジ類などは、花後には花柄を面倒でも摘み取ります。そうすると、結実しないので樹勢が落ちることが少ないです。キンメツゲなどの生垣も、新芽がかたまる5月頃からこまめに刈り込み剪定を行うと、緻密できれいな状態にできます。生垣をスッキリした直線で仕上げたいときは糸を張って行うと上手に仕上がります。刈り込みの強さは上部は深く下部は浅くが基本です。



4月後半になると咲き始めるのがキリシマツツジです。品種が数多く存在します。旧家には、この種類の古木を今でも見ることがあります。ただし、成長が遅く、土壌条件が合わないと、だんだんと弱ることもあります。公園内にはヒノデキリシマなどの品種が植えられています。